



日 鶏 協 ニ ュ ー ス

2022年7月号
一般社団法人日本養鶏協会

INDEX

・(一社)日本養鶏協会 第73回定時総会 開催	1
・畜産物輸出促進協議会 鶏卵輸出部会 第8回通常総会 開催	2
・飼料や燃料等の価格が上がり、資金繰りに困っている畜産農家向けの 金融支援について(農林水産省)	3
・配合飼料供給価格の動向	4
・第7期家畜防疫互助事業積立金(追加分)前倒し返戻を実施	5
・鶏卵公正取引協議会からのお知らせ 「日本食品標準成分表 2020年版」への切替はお済みですか?	6
・統計データ	8
・協会活動報告	9

(一社)日本養鶏協会 第73回定時総会 開催

令和4年6月29日(水)東京・大手町サンケイプラザにおいて、「(一社)日本養鶏協会 第73回定時総会」が開催されました。

冒頭、杉原勲会長の挨拶後、来賓を代表して農林水産省畜産局畜産振興課畜産技術室長・葛谷様から祝辞をいただきました。



杉原会長より松本義治筆頭副会長を議長に指名され、松本議長のもと、令和3年度事業報告、令和4年度事業計画及び収支予算の報告がなされ、下記第1号～第4号議案が、原案通り可決されました。

- 第1号議案 令和3年度計算書類等に関する件(公益目的支出計画実施報告も含む)
- 第2号議案 令和4年度会費の賦課及び徴収方法に関する件
- 第3号議案 定款の一部変更(第4条関係)に関する件
- 第4号議案 理事2名の選任に関する件

※協会HP上に総会議事運営の動画を掲載し会員様限定に公開しています。

【お問い合わせ】

総務部 Tel : 03-3297-5515



畜産物輸出促進協議会 鶏卵輸出部会 第8回通常総会 開催

令和4年6月30日(木)13:00より、馬事畜産会館・2階会議室において、「鶏卵輸出部会第8回通常総会」が開催されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染状況が多少落ち着いてきたという状況を鑑み、3年ぶりに会場を借りての実開催となりました。

冒頭、落水部会長より「令和3年度は依然として新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず、現地に出張してのセミナー開催や展示会への参加等の販促活動ができなかったが、輸出相手国では巣ごもり需要や従来からの輸入先国からの供給減少などもあり、令和3年度の日本産鶏卵の輸出数量は21,956トンと前年比121%と堅調に推移した。今年度は現地でのプロモーション活動や展示会への参加、新規輸出開拓先に向けた調査など、オールジャパンで日本産鶏卵のブランド力向上と更なる輸出増加を目指したい。」と挨拶がありました。



その後来賓を代表し、農林水産省畜産局食肉鶏卵課 木下食肉需給対策室長様よりご祝辞とご挨拶を頂きました。

下記第1号議案～第4号議案が全て可決され、正式に令和4年度の事業がスタートしました。

- 第1号議案 令和3年度事業報告及び計算書類に関する件
- 第2号議案 令和4年度事業計画案に関する件
- 第3号議案 令和4年度収支予算案に関する件
- 第4号議案 将来的に鶏卵輸出部会の業務を日本養鶏協会に移管することを検討する件

【お問い合わせ】

日本畜産物輸出促進協議会 鶏卵輸出部会 事務局

Tel : 03-3297-5508 Fax : 03-3297-5519



飼料や燃料等の価格が上がり、資金繰りに困っている 畜産農家向けの金融支援について（農林水産省）

農林水産省は、配合飼料等の農業資材や物価高騰などの影響を受けた畜産経営を含む農林漁業者に対し、資金が円滑に融通されるように、

- ① 実質無利子化・無担保融資化
- ② 農林漁業セーフティネット資金の貸付限度額の特例

等を令和4年4月26日から措置しています。

①実質無利子化・無担保融資化

農林漁業セーフティネット資金、スーパーL資金、経営体育成強化資金、農業近代化資金等の融資について、貸付当初5年間は実質無利子で融資が受けられます。

さらに実質無担保等での融資が受けられます。

②農林漁業セーフティネット資金の貸付限度額の特例

農林漁業セーフティネット資金の貸付限度額の特例が設けられ、通常は年間経営費等の6/12または600万円ですが、特例は同12/12または1,200万円となります。

（なお、新型コロナと農業資材や物価高騰のダブルパンチを受けた場合は、同18/12または1,800万円となります。）

■ [畜産農家向けの金融支援策について](https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_zigyo/attach/pdf/index-37.pdf)

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_zigyo/attach/pdf/index-37.pdf

■ [農林漁業者に対する金融支援策：総括図](https://www.maff.go.jp/j/budget/attach/pdf/r4yobihi-20.pdf)

<https://www.maff.go.jp/j/budget/attach/pdf/r4yobihi-20.pdf>

■ [参考：畜産関係の融資制度全般](https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_zigyo/attach/pdf/index-34.pdf)

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_zigyo/attach/pdf/index-34.pdf



なお、本件の資金借り入れについては、最寄りの農協、日本政策金融公庫支店、信用農協連合会、もしくは普段お取引のある銀行などにご相談ください。

【お問い合わせ】

<予算・事業一般について>

農林水産省 畜産局 総務課 ダイヤルイン：03-6744-0564

<価格関連対策・経営安定対策・融資制度について>

農林水産省 畜産局 企画課 ダイヤルイン：03-3502-5979

配合飼料供給価格の動向

令和4年7～9月期の配合飼料供給価格については、飼料情勢・外国為替情勢等を踏まえ、令和4年4～6月期に対し、全国全畜種総平均トン当たり11,400円値上げすることが決定されました。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

単位：円／平均トン（前四半期比較）

区分	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	年間
令和4年	↑2,900	↑4,350	↑11,400		↑18,650
令和3年	↑3,900	↑5,500	↑4,700	▼1,250	↑12,850
令和2年	↑700	▼800	▼1,000	↑1,350	↑250
令和元年	↑500	▼850	▼400	▼650	▼1,400
平成30年	↑1,500	↑1,100	↑1,550	▼800	↑3,350

出典：全国農業協同組合連合会（JA全農）「配合飼料供給価格」

■ [令和4年7～9月期の配合飼料供給価格について](https://www.zennoh.or.jp/press/release/2022/90661.html)

<https://www.zennoh.or.jp/press/release/2022/90661.html>



第7期家畜防疫互助事業積立金（追加分）前倒し返戻を実施

第7期（平成30年度～令和2年度）家畜防疫互助事業については、令和2年度に鳥インフルエンザの大量発生があり、45農場が互助金の交付対象となっていました。このうち36農場は互助金の支払が完了していますが、残りの9農場については手続きが完了していないことで未払いとなっていますことから、精算ができず、追加積立金に残額が発生することが確実であるにもかかわらず、返戻できない状況にありました。

当協会としては、今般の飼料等資材費の高騰に伴う経営環境の急激な悪化に対応するため、農林水産省及び（独）農畜産業振興機構に働きかけ、追加積立金から互助金交付見込額（最大）を確保した上で、当該積立金の残額を追加積立参加者に一部返戻することとしました。

現在、返戻該当者の口座等の確認作業を行っており、7月中を目途に返戻する予定で作業を行っています。

なお、全ての互助金の交付完了後、さらに当該積立金の残額が生じた場合には、再度返戻を実施します。

第7期基金の状況

（令和4年6月15日現在、単位：円）

	積立金	国庫補助金
第7期基金(当初+追加)	2,003,882,040	2,003,882,040
互助金支払済み額	1,020,024,473	1,020,024,467
基金残額	983,857,567	—
互助金交付見込額（未支払分の上限額）※	510,505,020	510,505,020
基金見込残額（今回の返戻額）	473,352,548	—

※互助金交付見込額は、未支払分の上限額であって、実際の交付額は上記の額よりは減少する見込み。

令和2年度発生農場への互助金交付の状況

事業参加者発生農場数	45農場
互助金交付済み農場数	36農場
手続き未完了	9農場

【お問い合わせ】業務第1部 Tel : 03-3297-5515



鶏卵公正取引協議会からのお知らせ

「日本食品標準成分表2020年版」への切替はお済みですか？

(会員証紙審査委員会による試買調査結果より)

鶏卵公正取引協議会では、毎年1回市販品買入調査により、公正マークの付された商品を中心として、ラベル表示の適正状況を調査しています。

令和4年度については、5月24日に会員証紙審査委員会を開催し、全国のスーパー等で買入した40商品のラベル表示の審査を行いました。審査の中で指摘された改善すべき2項目を紹介いたします。

1. 日本食品標準成分表は2020年に2015年版から2020年版に更新されています。

「栄養強化卵」などの**栄養強調表示**（増強した、〇%アップ、〇倍といった**相対表示**の場合）や食品表示基準の対象外の成分について分量の多寡を強調して表示をする場合には、比較対象として「普通卵」のデータを表示することになっています（※）。

鶏卵公正競争規約では「普通卵」のデータは、最新の日本食品標準成分表に記載されている数値とすることとされています。

今回調査した商品では、日本食品標準成分表2020年版を使用しているものが8商品、2015年版を使用しているものが6商品ありました。

2020年版に更新されて約1年半が経過しており、規約では「最新版」を使用することとなっていますので、**まだ2015年版で表示されている事業者の皆さんはできるだけ速やかに2020年版に切り替えてくださいますようお願いいたします。**

(※) 単に栄養成分を表示する場合や、栄養成分の補給ができる旨の基準値を満たしている場合の「高い」「含む」などの**絶対表示**の場合には、他の鶏卵との比較ではありませんので、必ずしも「普通卵」の表示は必要ではありません。

日本食品標準成分表2015年版を使用していると、問題となる可能性も。

たとえば、ビタミンEは改定によって、鶏卵（全卵・生）の可食部100g当たりの栄養成分値は、1.0mgから1.3mgとなっています。ある鶏卵にビタミンEが10mg含有されている場合、2015年版では10倍表示できましたが、2020年版では、7倍表示等としなくてはなりません。逆に2020年版で10倍表示している場合は、13mg含有していることを示していることとなります。このように同じ10倍表示でも、含有されている栄養素に差が生じることであり、消費者の誤認につながる可能性もあります。したがって、業界全体として同じ基準をもとに表示することが大切です。

■ [日本食品標準成分表2020年版（八訂）（文部科学省）](https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_01110.html)

https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_01110.html



2. 栄養成分の項目・表示順番は適正ですか？

栄養成分表示をする場合、表示する項目と順番は定められていますが、不適切な表示も確認されました。以下の通り表示をしてください。

① 基本5項目を表示する場合	② 基本項目以外の成分も表示する場合
<p>熱量 たんぱく質 脂質 炭水化物 食塩相当量 (この順番で記載する)</p>	<p>熱量 たんぱく質 脂質 — 飽和脂肪酸 — n-3系脂肪酸 — n-6系脂肪酸 コレステロール 炭水化物 — 糖質 — 糖類 — 食物繊維 食塩相当量 その他の栄養成分 (ビタミン、ミネラル)</p>

(注)

- a : ②の様式のうち、義務表示5項目以外で表示しない栄養成分は省略する。
- b : 糖質又は食物繊維のいずれかの量を表示する場合は、炭水化物の内訳として糖質及び食物繊維の両方を表示しなければならない。
- c : 炭水化物の内訳として、糖類のみを表示することは可。
- d : ナトリウムを表示する場合は、「食塩相当量」「ナトリウム(食塩相当量)」と表示す。
- e : トランス脂肪酸の含有量を表示する場合は、食品表示基準に定める義務表示5項目に加え、飽和脂肪酸及びコレステロールの含有量と併せて表示する。
- f : n-3系脂肪酸やn-6脂肪酸を合わせて表示する場合は、飽和脂肪酸とトランス脂肪酸の間に、n-3系、n-6系脂肪酸の順で表示する。

(出典：[東京都 栄養成分表示ハンドブック](#) (令和4年3月発行版) より)

【お問い合わせ】

鶏卵公正取引協議会 https://www.jpa.or.jp/keiran_root/

E-mail : teritama@jpa.or.jp Tel : 03-3297-5516 Fax : 03-3297-5519



統計データ



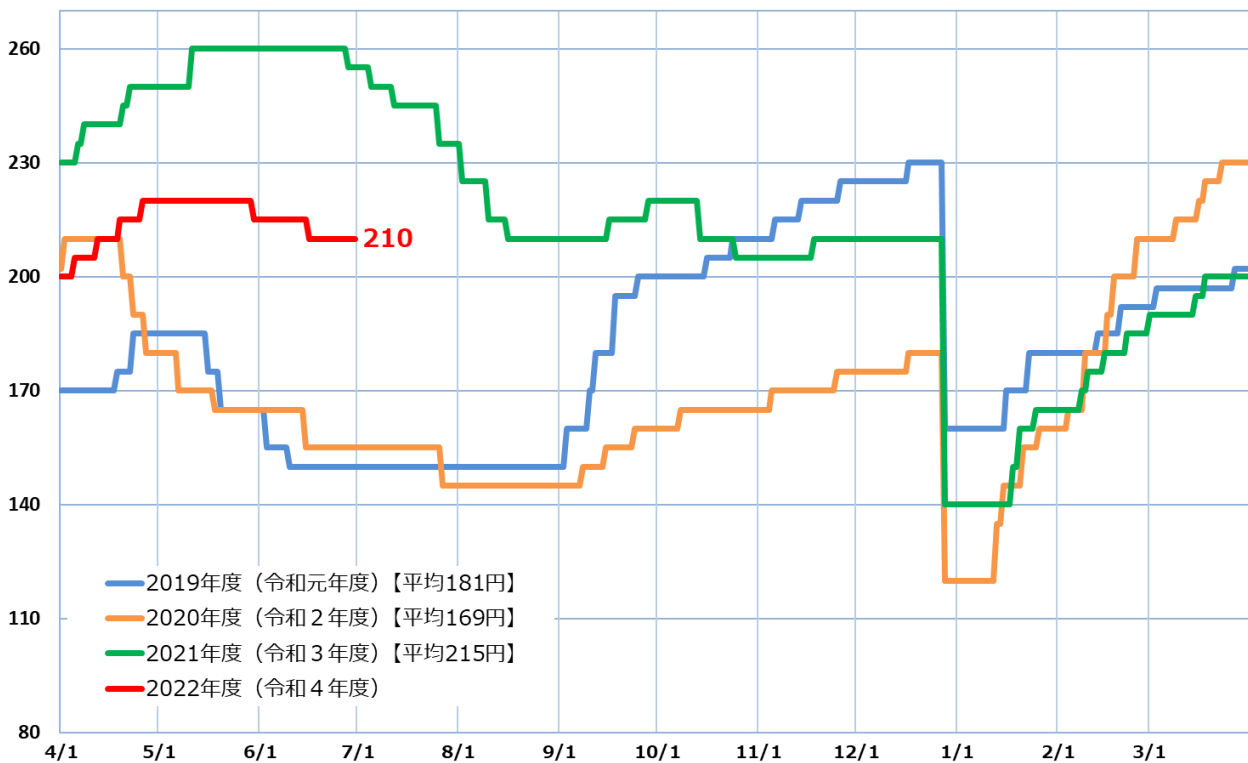
鶏卵相場動向 — 過去10年間の6月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成25年	155	178	147
平成26年	199	218	189
平成27年	223	248	214
平成28年	197	218	189
平成29年	197	215	191
平成30年	165	183	159
令和元年	151	173	144
令和2年	160	185	149
令和3年	259	280	249
令和4年	213	237	204
平均値	192	214	184

令和4年6月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値237円は、過去10年の平均値214円を23円上回り、安値204円は、過去10年の平均値184円を20円上回っています。



鶏卵相場推移 2019年度～2022年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場は、5月末から6月中旬まで215円でしたが、6月中旬以降210円に下がりました。



鶏卵関係主要計数 —— 令和4年4月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
3年 5月	9,183	95.6%	464	97.5%	1,004	97.4%	168	258
6月	10,083	107.8%	476	100.9%	882	94.3%	160	259
7月	9,867	100.0%	462	95.2%	903	93.5%	153	245
8月	8,140	98.1%	451	101.6%	915	98.3%	145	215
9月	8,924	111.2%	467	102.1%	902	99.3%	153	213
10月	9,696	108.0%	463	94.2%	942	95.9%	164	213
11月	9,057	101.2%	485	102.8%	924	97.4%	171	207
12月	9,574	111.3%	526	99.3%	946	93.9%	178	210
4年 1月	8,535	100.2%	461	101.8%	927	97.5%	142	151
2月	8,670	97.5%	450	102.4%	895	97.3%	183	175
3月	9,248	102.3%	515	101.8%	959	101.7%	220	195
4月	8,843	91.6%	485	102.2%	917	93.8%	241	211
1年間合計平均(%)	109,820	102.1%	5,705	100.2%	11,116	96.7%	173(平均)	213(平均)

- ・雛餌付羽数は、8,843千羽（前年比91.6%）と前年比8.4%減となりました。
- ・配合飼料出荷量は、485千トン（前年比102.2%）と前年比2.2%増となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、917グラム（前年比93.8%）と前年比6.2%減となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の30円安を示しました。

協会活動報告



鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

①価格差補填事業の事業参加者との契約数量（トン/月当たり）

令和 元年度	167,141
令和 2年度	163,160
令和 3年度	153,391
令和 4年度	149,558

②令和4年6月 標準取引価格 208.07円/kg

③鶏卵価格差補填事業

補填基準価格 181円/kg

安定基準価格 159円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)

Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2022年7月6日

編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)